

## 「飯 蛸」

元更生訓練所理療指導室長 川政 勲

飯蛸の分布は、東京湾から南、瀬戸内海から九州にかけて多く、生息域は零メートルから十メートルと浅い海に住んでいる。沿岸の貝や岩などに、米粒のような卵を産み付ける。

蛸の仲間では飯蛸は小さい方、やっと8センチほどの可愛い蛸である。それでも肌はぶつぶつと刺だっているが、これは他の魚に見つからないように、岩や海草などに隠れても同じように見える擬態なのである。

蛸の仲間は体を守る鱗も骨も無いから、場所に対する順応性が強く、すーっと泳いできて石や海草に乗ったとき、たちまち周りの色と一緒になる。

飯蛸は卵が飯粒のようで、煮ると歯当たりが良くて大変美味、それで飯粒の入った蛸というのが名前になった。

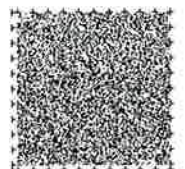
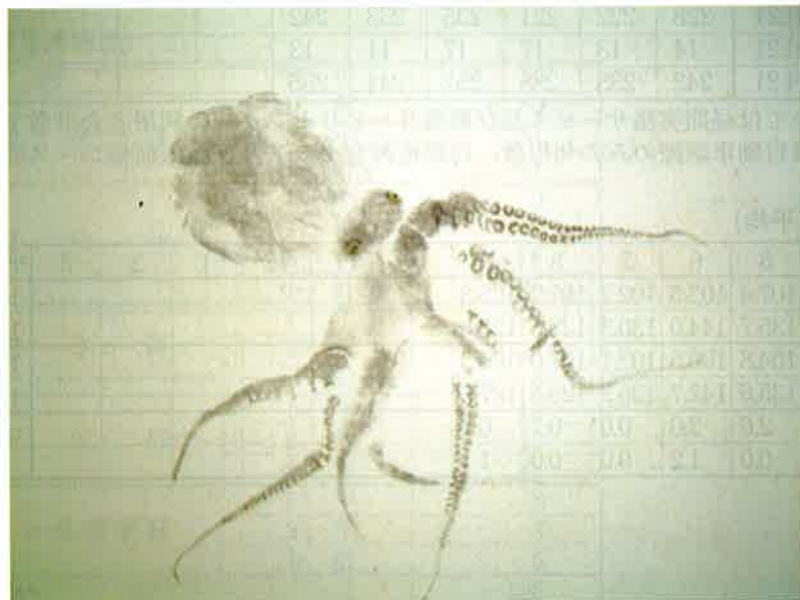
船の釣りが主で、飯蛸専用の二本針の付いた仕掛けに、ラッキョウを縛り付ける。代わりに最近では

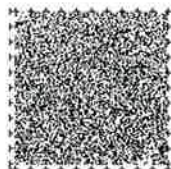
白い発泡スチロールなどを使う。目立つものに興味が及ぶらしい。直接餌を使う時にも白っぽいものが良く、サメの身や鳥のささみなどが使われている。この仕掛けを海底に降ろし、軽く小突きながらイダゴの乗るのを待つが、乗るとずずーっと重くなるので、一度合わせておいて、糸を緩めないように静かに上げてくる。

この作品の飯蛸は、塩原視力障害センターから伊東重度障害者センターに転勤し、慣れていない肢体不自由の方々との初めての仕事の合間に、伊東港へ釣りに出かけた際に、初めて釣れた魚(?)である。

蛸の体は柔らかく、上手く固定できないので、蛸の体に直接絵の具を塗り、和紙を被せて手のひらで撫でて写し取ったものである(墨を魚に塗って魚拓をとる直接法の魚拓のとり方)。

秋うらら一日だけの魚拓展 いさお





# 平成21年度

## リハビリテーション実施状況（9月報告）

### 1 利用者状況

#### (1) 昼間実施のサービス状況：月末人員

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練（機能）	H.21	15	17	19	25	27	26							21.5
	H.20	11	13	13	15	11	12							12.5
自立訓練（生活）	H.21	10	9	9	7	6	10							8.5
	H.20	10	10	11	11	8	10							10.0
就労移行支援	H.21	56	55	53	69	63	74							61.7
	H.20	50	54	49	61	57	62							55.5
就労移行支援（養成施設）	H.21	78	77	76	75	75	75							76.0
	H.20	85	84	84	83	82	81							83.2
合 計	H.21	159	158	157	176	171	185							167.7
	H.20	156	161	157	170	158	165							161.2

#### (2) 施設入所支援サービス状況：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.21	191	186	182	192	187	198							189.3
	H.20	189	196	194	206	194	200							196.5

#### (3) 独自事業等：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
職業リハビリセンター	H.21	69	64	64	59	62	57							62.5
自動車訓練	H.21	14(9)	12(8)	15(12)	17(12)	12(6)	14(8)							14.0(9)
再理療教育クラス	H.21	0	0	0	0	0	0							0.0
臨床研修コース	H.21	5	5	5	5	5	5							5.0

※1 職業リハビリセンターについては施設入所支援を利用している者の内数である。

※2 ( ) は他の事業に属さない者の数である。

#### (4) 利用者数：月末人員

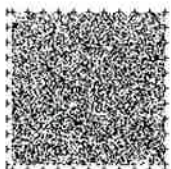
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.21	228	222	221	235	233	242							230.2
独自事業	H.21	14	13	17	17	11	13							14.2
利用者数総計	H.21	242	235	238	252	244	255							244.3

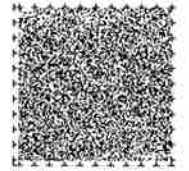
※1 支援サービスについては昼間実施サービス及び職業リハビリセンターの利用者合計数である。

※2 独自事業については自動車訓練のみの利用者、再理療教育クラス及び臨床研修コースの利用者の合計数である。

### 2 入院患者の状況（1日平均）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	121.0	107.4	102.5	102.2	107.7	105.3							107.7
	H.20	128.4	135.7	144.0	130.3	123.6	128.6							131.8
一 般	H.21	119.4	104.8	100.5	102.1	107.0	105.3							106.5
	H.20	128.0	135.6	142.7	130.3	123.6	127.5							131.3
利 用 者	H.21	1.6	2.6	2.0	0.0	0.7	0.1							1.2
	H.20	0.3	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1							0.4





### 3 外来患者の状況（1日平均）

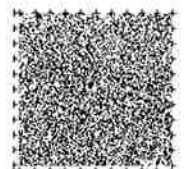
区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	154.9	162.1	151.0	152.6	147.9	151.5							153.3
	H.20	161.7	168.2	163.3	165.2	153.9	169.7							163.7
一 般	H.21	143.0	147.6	138.8	139.7	136.1	137.5							140.5
	H.20	149.6	154.1	150.0	151.4	141.1	155.2							150.2
利 用 者	H.21	11.8	14.3	12.2	12.9	11.7	14.0							12.8
	H.20	12.0	14.1	13.3	13.7	12.8	14.4							13.4

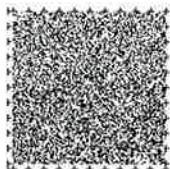
### 4 見学者の状況（実人員）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国 内	113	212	341	182	396	440							280.7
	海 外	0	25	15	11	6	14							11.8
教 育	国 内	3	9	19	48	31	3							18.8
	海 外	0	0	9	0	0	0							1.5
福 祉	国 内	139	182	99	99	12	76							101.2
	海 外	1	0	29	10	2	6							8.0
職 業	国 内	22	0	0	0	3	29							9.0
	海 外	0	0	0	0	2	0							0.3
そ の 他	国 内	54	19	72	35	15	57							42.0
	海 外	0	1	15	2	9	6							5.5
うち障害者 (再 掲)	国 内	4	5	13	20	1	2							7.5
	海 外	1	0	3	0	0	3							1.2
平成21年度 合 計	国 内	331	422	531	364	457	605							451.7
	海 外	1	26	68	23	19	26							27.2
	計	332	448	599	387	476	631							478.8
平成20年度合計		324	418	644	557	498	516							492.8

### 5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	30
	2 年	31
	小 計	61
義 肢 装 具 学 科	1 年	9
	2 年	9
	3 年	8
	小 計	26
視 覚 障 害 学 科	1 年	4
	2 年	4
	小 計	8
手 話 通 訳 学 科	1 年	13
	2 年	12
	小 計	25
リハビリテーション体育学科	1 年	3
	2 年	3
	小 計	6
合 計		126





#### センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
- 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
- 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指

をイメージ化したものです。

また、NRCDはNATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）

上のシンボルマークは、WHO（世界保健機関）のマークです。

WHO（World Health Organization）とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

#### 「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3102

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

（国リハニュースはホームページに掲載されています）

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール（[kikakuka@rehab.go.jp](mailto:kikakuka@rehab.go.jp)）をお寄せ下さい。

